

平成30年度
事業報告書

社会福祉法人息吹

平成30年度社会福祉法人息吹事業報告

《総括事項》

1 地域活動支援センターI型について

地域活動支援センターI型パオみのおにおいて、平成30年度の報酬改定において計画相談のモニタリング頻度が増やされたことで計画相談に係る業務量が増して地域活動支援センターに注ぐ業務量が相対的に減る課題が生じたため、サービス提供時間を午前に1時間半シフトすることで、訪問、通院同行や関係機関との連携が円滑に進められるようにした。今後は、地域活動支援センターの営業時間についても、利用者の意向を聞きつつ対応策を検討し、委託主体の箕面市とも協議する。

2 グループホームについて

数年来、新規入居の促進に取り組んでいるが、体験だけして入居を見送ったり、自立生活や体調不良等の事情で退居が相次いでおり、空室が慢性化している状況があり課題である。これまでは、法人が運営する事業所の利用者の入居ニーズを元に入居調整してきたが、対象を広げて募集する方向で検討を進める必要が生じている。

3 利用者の減少について

法人が運営する日中活動系事業所全般において、利用者が減少しており、収入減少の要因となっている。一年に数件もの一般就労が実現したり、体調不良で通所が安定しなかったり、入院で契約解除せざるを得なくなったり、理由は多岐にわたっている。昨年度は、一時期に新規利用が重なって、受け入れを抑制した事業所があっただけに、長期的な利用動向を見極めつつ、基幹相談支援センターや医療機関等と密接な連携を図ることが重要である。

4 利用者及び家族の高齢化について

少子高齢化の影響は、精神障害者の日常生活及び社会生活に多様な問題となって表れている。当法人が事業運営のなかで認識している課題としては、精神障害当事者本人の高齢化、家族の高齢化によって家族が担えなくなった本人への支援体制の変化、逆に家族の高齢化によって家族への家事や介護などを本人が担うことの負担や不安の高まりの3点に整理できる。

こうした課題への対応としては、本人や家族のニーズに基づきながら、障害福祉

サービスだけでなく高齢福祉サービスや民生委員児童委員、その他の地域のインフォーマルサービス等を活用しつつ、成年後見制度を始めとした権利擁護の制度も含めて柔軟に取り組んでいく必要がある。

5 地域交流啓発に関する取組みについて

もみじの家において、昨年6月の大阪北部地震により南側ブロック塀が倒壊する恐れが生じているが、所有者貸主が施工しようとした改修工事が都合により延期されたままになっており、恒例のもみじの家地域交流祭「いっぷく」の中止を余儀なくされた。

《事業別報告》

1 理事会・評議員会開催状況

(1)理事会開催状況(全4回)

第1回理事会(全議案を同日可決、承認)

開催日時:平成30年5月28日(月) 午後2時00分から

報告第1号 障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づくパオみのお(地域移行支援及び地域定着支援)運営規程一部改正報告の件

報告第2号 障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づくパオみのお(特定相談支援事業)運営規程一部改正報告の件

第1号議案 平成29年度社会福祉法人息吹事業報告及び決算の件

第2号議案 評議員選任の件

第3号議案 役員選任の件

第2回理事会(全議案を同日可決、承認)

開催日時:平成30年12月5日(水) 午後2時00分から

第4号議案 障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づくもみじの家(生活介護)運営規程一部改正の件

第5号議案 障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づくあっとほ一む(就労継続支援B型)運営規程一部改正の件

第6号議案 障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づくシエスタ(就労継続支援B型)運営規程一部改正の件

- 第7号議案 平成30年度社会福祉法人息吹補正予算(案)の件
- 第8号議案 評議員選任・解任委員選任の件
- 第9号議案 給与制度改革方針案の件

第3回理事会(全議案を同日可決、承認)

開催日時:平成31年3月18日(月) 午後2時00分から

- 第10号議案 障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づくパオみのお(地域移行支援及び地域定着支援)運営規程一部改正の件
- 第11号議案 障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づくパオみのお(特定相談支援事業)運営規程一部改正の件
- 第12号議案 障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づくかたばみ寮(共同生活援助)運営規程一部改正の件
- 第13号議案 障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づくもみじの家(生活介護)運営規程一部改正の件
- 第14号議案 障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づくあっとほーむ(就労継続支援B型)運営規程一部改正の件
- 第15号議案 障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づくシェスタ(就労継続支援B型)運営規程一部改正の件
- 第16号議案 平成30年度補正予算(案)及び職務執行状況報告の件
- 第17号議案 平成31年度事業計画(案)及び予算(案)の件
- 報告第3号 法人運営及び施設運営に係る自己点検・自己評価の件
- 第18号議案 評議員選任の件
- 第19号議案 施設長選任の件
- 第20号議案 給与制度改革方針案の件

(2)評議員会開催状況(全1回)

定時評議員会

開催日時:平成30年6月11日(月) 午後1時00分から

- 報告第1号 評議員選任の件
- 第1号議案 平成29年度社会福祉法人息吹事業報告及び決算の件
- 第2号議案 役員選任の件

2 地域交流啓発事業及び全体事業

- 5月18日(金) 息吹合同レク・バーベキュー大会(箕面市青少年教学の森)
- 6月16日(土) 春のバザー出店
- 7月1日(日) 南小学校「みなみパワフルランド」出店
- 7月20日(金) みのおライブプラザ夏まつり出店
- 7月21日(土)～7月22日(日) 箕面地区納涼の夕べ出店
- 7月28日(土)～7月29日(日) 箕面まつり出店(中止)
- 8月17日(金) あかつき福祉会納涼祭出店
- 8月28日(火) ハートパーク(萱野北小学校ワークショップⅠ)
- 8月30日(木)～7日(金) ハートパーク(萱野北小学校もみじの家施設体験)
- 9月7日(金)～8日(土) 息吹一泊旅行(長島温泉方面)
- 9月10日(月) ハートパーク(萱野北小学校ワークショップⅡ)
- 12月13日(木) こころの会交流会
- 12月21日(金) みのおライブプラザ冬まつり出店
- 1月19日(土) ハートパーク(萱野北小会館・発達障害に関する学習会)

3 ボランティア・見学・実習の受入れ

(1) ボランティア・見学・実習の受入れ状況

ボランティア受入れ延べ人数	57人
学校関係体験実習受入れ延べ人数	55人
利用見学及び実習受入れ延べ人数	60人
関係機関等施設見学・実習受入れ延べ人数	64人
精神保健福祉援助実習受入れ延べ人数	16人

(2) 主な見学及び実習の受入れ機関等

箕面市、箕面市新規採用職員研修、箕面市職員福祉体験研修、箕面市立萱野北小学校、精神保健福祉ボランティアこころの会、民生委員・児童委員、大阪バイオメディカル専門学校、大阪健康ほいく専門学校、花園大学、藍野大学短期大学部

4 会議への派遣

- ・(社福)箕面市社会福祉協議会評議員会
- ・(社福)あかつき福祉会評議員会
- ・(社福)あかつき福祉会 グループホーム運営委員会
- ・(財)箕面市障害者事業団採用検討委員会
- ・(財)箕面市障害者事業団理事会
- ・(財)箕面市障害者事業団評議員会
- ・(財)箕面市障害者事業団自主事業運営委員会
- ・箕面市障害者市民施策推進協議会

- ・箕面市地域自立支援協議会運営会議
- ・箕面市地域自立支援協議会相談支援部会
- ・箕面市地域自立支援協議会地域移行・定着支援部会
- ・箕面市地域自立支援協議会権利擁護部会
- ・箕面市地域自立支援協議会障害者就労系通所事業所 情報交換会
- ・アンテナショップ運営委員会
- ・大阪精神障害者地域生活支援連絡協議会
- ・箕面市生活困窮者自立支援事業推進協議会

5 職員研修実施状況

(1)職場研修

- ・(社福)風媒花との合同研修
- ・医療観察制度に関する研修
- ・パワーハラスメントに関する研修
- ・施設コンフリクトに関する研修
- ・虐待防止に関する研修

(2)主な参加研修

① 資格取得研修

- ・サービス管理責任者研修(介護)
- ・相談支援従事者現任研修

② 業務能力開発のための研修

- ・感染症予防対策講習会
- ・大阪精神障害者地域生活支援連絡協議会定例会(計3回)
- ・大阪精神障害者地域生活支援連絡協議会新任者研修(計2回)

③ 人権問題及びその他の研修

- ・大阪府障がい者虐待防止・権利擁護研修
- ・公正採用選考人権啓発推進員研修

パオみのお(相談支援事業)事業報告

1 概要

計画相談のモニタリング頻度が増やされたことによる相談支援業務量の増加によって、地域活動支援センター I 型として運営体制を見直す必要が生じている。

退院促進の取り組みについて、地域移行支援の件数が少ない状況が続いており、課題が長期化している。

2 特筆すべき事項と課題

(1) 指定特定相談支援事業（計画相談）

「サービス等利用計画」については、パオみのおが箕面市委託相談事業所であることから、困難事例を中心に新規受任作成件数を増やすことが求められている。

平成30年度の報酬改定において、計画相談のモニタリング頻度が増やされたことによって、利用者の生活の変化をこれまで以上に把握できるようになった一方で、計画相談に係る業務量が増して地域活動支援センターに注ぐ業務量が相対的に減る状況があり、課題となっている。

(2) 指定一般相談支援事業（地域移行・地域定着）

箕面市地域自立支援協議会地域移行部会において、精神科病院と連携して地域移行支援に係る院内説明会や、病院職員が地域の日中活動事業所を見学するなど取り組みを進めているが、28年度以降ゼロ件だった地域移行支援件数は30年度も1件と少ない状況であり、さらなる地域移行の促進に向けて課題となっている。

(3) 委託相談支援事業（箕面市地域生活支援事業）

箕面市の委託相談支援事業所として、精神障害者の困難事例への対応件数を増やすよう求められている。障害福祉サービスを利用することで生活の質の向上が見込まれるものの、様々な理由でサービス利用に至らないなど、対応が困難な事例が増えている。

3 今後について

(1) 指定特定相談支援事業（計画相談）

計画相談に係る業務量が増していることについては、サービス提供時間を現行の「10時30分から19時00分まで」から「9時00分から17時30分まで」に変更することで、訪問、通院同行や関係機関との連携が円滑に進め

られるようにした。今後は、地域活動支援センターの営業時間についても、利用者の意向を聞きつつ対応策を検討し、委託主体の箕面市とも協議する。

(2) 指定一般相談支援事業（地域移行・地域定着）

個別支援や地域の体制整備について、大阪府地域精神医療体制整備広域コーディネーターや自立支援協議会地域移行・定着支援部会と連携した支援を行うとともに、引き続き部会における検討を行う。

(3) 委託相談支援事業（箕面市地域生活支援事業）

困難事例への対応については、引き続き箕面市基幹相談支援センターと連携して支援に当たるとともに、職員研修等による能力強化と連携強化に努める。障害福祉サービスが必要にもかかわらず、サービス利用に至っていない障害者への支援については、柔軟に利用が可能な地域活動支援センターを活用することで対応していく。

4 主な活動実績

(1) 計画相談支援事業(指定特定相談支援事業)

(単位:件)

	30年度	29年度	前年度比
サービス等利用計画作成	85	93	91.4%
モニタリング	225	180	125.0%

(2) 地域相談支援事業(指定一般相談支援事業)

(単位:件)

	30年度	29年度	前年度比
地域移行支援	1	0	-%
地域定着支援	0	0	0%

(3) 相談支援事業実績(箕面市地域生活支援事業)

(単位:件)

	30年度	29年度	前年度比
相談支援	2,787	2,583	107.9%
地域生活サポート	94	95	98.9%

パオみのお(地域活動支援センター)事業報告

1 概要

サロン利用が減少しており、相談支援事業と併せて地域活動支援センターⅠ型として運営体制を見直す必要が生じている。

2 特筆すべき事項と課題

- (1)延べ利用者が5年前(25年度 4,115人)から3割以上減少しており、利用者の減少傾向が続いている。地域活動支援センターに対する利用者ニーズの現状を確かめて、運営方法を検討する必要が生じている。
- (2)利用ニーズについて、かつてのように多くの利用者が集まって談笑したり、調理や食事を楽しんだりする利用者が激減しており、サロンで過ごす利用ニーズが一変している。
- (3)サロンの利用時間帯については、夕方よりも午前の方が多くなっており、現在の営業時間(11時から18時30分まで)と利用者ニーズがミスマッチする状況がある。
- (4)グループワーク事業については、月2回の活動が定着し新規利用者についても安定した参加が認められた。

3 今後について

- (1)相談支援事業のサービス提供時間を変更したのに伴って、地域活動支援センターの営業時間についても利用者の意向を聞きつつ対応策を検討し、委託主体の箕面市とも協議する必要がある。
- (2)多様化する利用者ニーズに対応するため、内部研修の実施や外部研修の積極的活用により職員育成に努める。
- (3)サロンで過ごすことが難しい利用者を対象に実施してきたグループワーク事業については、サロン利用に比べて安定した参加があるため、さらに充実させる方向で検討する。

4 主な活動実績

- (1)当事者活動支援 42人(69人)
カメカメクラブ、魁スポーツ推進振興クラブ、カチカチクラブ等
- (2)レクリエーション活動 121人(76人)
一泊旅行、花見、外食、ショッピングツアー、カフェ、茶話会、スマホ勉強会、鍋パーティー等

(3) 独自事業

- ① グループワーク事業 延利用者数 74人(107人)
- ② 食事作り事業 延利用者数 284人(346人)
- ③ 送迎事業 延利用者数 45人(36人)

※(カッコ)内は昨年度実績

5 利用者状況

(1) 利用実績

	30年度	29年度	前年比
延べ利用者数	2,779人	3,059人	90.8%
開所日数	307日	307日	100%
1日あたり平均利用者数	9.1人	9.9人	91.9%

(2) 登録者数

平成31年3月31日現在(単位:人)

	30年度	29年度	前年比
男性	163	164	99.4%
女性	115	115	100.0%
合計	278	279	99.6%
新規登録者数	11	19	57.9%

(3) 障害者福祉手帳所持者数

平成31年3月31日現在(単位:人)

	登録数	平均年齢	1級	2級	3級	その他	重複	なし
男性	163	46.5	6	76	15	11	3	58
女性	115	46.5	6	42	10	2	2	57
合計	278	46.5	12	118	25	13	5	115

かたばみ寮(共同生活援助)事業報告

1 概要

数年来、新規入居の促進に取り組んでいるが、体験だけして入居を見送ったり、自立生活や体調不良等の事情で退居が相次いでおり、空室が慢性的に生じている状況があり課題である。これまでは、法人が運営する事業所の利用者の入居ニーズを元に入居調整してきたが、対象を広げて募集する方向で検討を進める必要が生じている。

2 特筆すべき事項と課題

- (1) 2名の新規入居があったが、うち1名は体調を崩して精神科入院となり、退居することとなったため、定員14人中10名の利用となっている。
- (2) 空室への入居について、これまで法人が運営する事業所の利用者の入居ニーズを元に入居調整してきたが、体験だけして入居を見送ったり、入居しても体調を崩して退居するケースが多く安定しない状況が続いており課題である。
- (3) 個別支援計画については、年に1度の計画作成と半年に1回のモニタリングを行っている。昨年度に引き続き、日中活動先の就労継続支援B型事業所及び地域活動支援センターとの連携強化を図りつつ計画を作成するよう留意した。
- (4) 利用者の障害種別が精神障害だけでなく知的障害や発達障害など多様化しているとともに利用者の高齢化も進んでいる。
- (5) 地域移行支援対象者にとってグループホームは、退院後の地域定着をすすめる上でも有効な社会資源であるため、退院後の生活の場として、さらに拡充する必要性が高まっている。

3 今後について

- (1) 空室への入居については、次年度において、法人が運営する事業所の利用者以外にも対象を広げて募集する方向で検討を進める必要がある。
- (2) 個別支援計画の目標に達していない利用者へのアプローチを関係施設、関係機関と連携をとりながら強化する。
- (3) 障害種別の多様化と利用者の高齢化により、支援力の向上・強化が求められている。世話人・生活支援員の体制を見直すとともに、内部研修の実施や外部研修への参加を積極的に行っていく。

4 利用者状況(平成31年3月31日現在)

①利用者数(単位:人)

	定員	利用者
かたばみ寮	2	2
第2かたばみ寮	4	2
ぶなの木荘	5	4
第2ぶなの木荘	3	2
合計	14	10

②利用者の特性

平均年齢	51.2 歳	
平均在籍年数	9 年 3 か月	
障害支援区分	区分 1	1 人
	区分 2	1 人
	区分 3	5 人
	区分 4	3 人

③利用者の日中活動先(単位:人)

もみじの家	2
あっとほーむ	3
シェスタ	0
就労	1
その他	2

生活介護もみじの家事業報告

1 概要

就労継続支援B型事業所として、安全な就労環境を確保しつつ工賃向上が見込める主力作業のあり方を検討した結果、「ゆっくりした生活リズムのなかで仲間と楽しめる居場所」を新しいもみじの家のコンセプトにして、平成29年4月1日から障害者総合支援法に基づく生活介護事業所に事業転換した。事業転換から2年目になって、徐々に日中活動支援を安定させることができている。

2 特筆すべき事項と課題

(1) 日中活動支援

日中活動プログラムについては、週1回のミーティングにおいてプログラム内容を丁寧に説明したり、利用者の発案を促すなど、利用者が主体となって活動内容を決定できるように努めた。

個別支援計画を作成し、年2回の定期面談を通して具体的な目標や取り組みを検討した。その結果、利用日数を増加したり、より長時間の利用につながるなど活動意欲の向上につながった。

入院や体調不良などの原因により、契約解除や利用回数を減らす利用者が増えたことで、延べ利用者数が減少した。

(2) 地域生活支援

利用者が居住の場から安心して通所するための送迎サービスについて、利用ニーズに応じて、送迎ルートの調整と送迎体制(車輛及び職員体制)の確保に努めた。老朽化が課題となっていた法人設立前から使用してきた送迎車輛について、リース使用者名義の問題を至急解決する必要性が生じたため、更新した。

日常生活において保清が苦手な利用者を対象とした入浴サービスについて、夏季には毎日5名程度のシャワー浴利用があり好評だった。

(3) その他

精神障害者理解促進事業ハートパークの一環として、萱野北小学校の6年生を対象にもみじの家で自主製品のナイロンタワシの作成を通して交流をした。

昨年6月の大阪北部地震により南側ブロック塀が倒壊する恐れが生じているが、所有者貸主が施工しようとした改修工事が都合により延期されたままになっており、恒例のもみじの家地域交流祭「いっぷく」の中止を余儀なくされた。

3 今後について

延利用者数の減少については、パオみのお等の相談支援事業者や関係機関と連携してPRするなど新規利用者を増やす取り組みが必要である。

平成30年度障害福祉サービス報酬改定で新設された「短時間利用減算」について、作業活動のみに参加し終日利用しない利用状況があり課題であるため、参加したいプログラム内容となるように魅力を高める取り組みが必要である。

※生活介護の利用時間が5時間未満の利用者の割合が全利用者の50%以上の場合は、70%に減算される。

4 主な活動実績

(1) 就労支援事業

①主な就労支援事業収入

事業内容	30年度	29年度	対前年度比
受託事業(箕面市ごみ袋製袋等)	3,307,917円	3,239,666円	102.1%
その他(自主製品)	19,000円	63,426円	30.0%
計	3,326,917円	3,303,092円	100.7%

②利用者一人当たりの月額平均工賃額

30年度	29年度	対前年度比
12,517円	11,036円	113.4%

(2) 日中活動プログラム

①主な日中活動プログラムの活動実績

プログラム	年回数	概要
作業	266回	箕面市指定ゴミ袋、おみくじ折り、オレンジリボンなど
ミーティング	50回	プログラム内容及び施設利用ルールなどについて、利用者に説明したり意見を出し合ったりする。
調理実習	24回	ボランティアグループこころの会と利用者が調理し食事する。
音楽	26回	ボランティアの方と利用者が器楽演奏と合唱をする。発表の機会も設ける。
健康教室	24回	医師及び看護師による健康相談(血圧、脈拍など)及び健康知識の講習会など。
ゲーム	13回	カードゲームやボードゲームなどを楽しむ。
運動	19回	稲スポーツセンター等の運動施設やもみじの家において、バレーボール・バスケットボール・卓球等に親しむ。
映画鑑賞	12回	DVDによる映画鑑賞をして感想文を書く。
カラオケ	9回	もみじの家でカラオケを楽しむ。
パソコン	7回	パソコンを使って基本操作などを体験しスキルアップする。
地域清掃	7回	施設周辺地域の公園や道路又は施設の清掃活動を行う。

※上記の他に、お菓子作り(8)、散歩(5)、茶話会(5)外出(3)、図書館散策(3)、合同レク(2)、パン作り(3)など。

②ボランティア・見学・実習参加状況

ボランティア受入れ延べ人数	57人
利用見学及び実習受入れ延べ人数	36人
関係機関等施設見学・実習受入れ延べ人数	34人
萱野北小学校体験実習受入れ延べ人数	55人
精神保健福祉援助実習受入れ延べ人数	11人

(2) その他の活動

- ①施設外活動(箕面市精神保健福祉ボランティアグループこころの会交流会参加、箕面駅前納涼の夕べ及び春のバザーへの出店参加)
- ②啓発活動(精神障害者理解促進事業ハートパーク)

5 利用者状況

(1) 利用実績総括表

平成31年3月31日現在

項目	30年度	29年度	対前年度比
利用契約者数	21人	23人	91.3%
平均年齢	48.6	47.3	+1.3歳
稼働日数	245日	251日	97.6%
延べ利用者数	2,729人	2,836人	96.2%
1日平均利用者数	11.2人	11.3人	99.1%

(2) 障害者福祉手帳所持状況

平成31年3月31日現在(単位:人)

	利用者数	2級	3級	B1	B2	なし	重複
男	16	13	1	1	2	0	1
女	5	4	0	0	0	1	0
合計	21	17	1	1	2	1	1

就労継続支援B型あっとほーむ事業報告

1 概要

個別支援計画において具体的な目標や取り組みを検討し、年2回のモニタリングを通して検証するとともに、関係機関との連携により生活及び就労に係る支援を実施した。一般就労への実現が実り事業所では、他の利用者への刺激にもなっていた。しかし、収入面において福祉サービス収入の減少となった。

配食サービスでの安定した受注があったため、利用者の作業ペース及び作業内容に配慮した作業機会の提供ができた。利用人数の減少があったが就労支援収入の変化はあまりなかったため利用者の工賃の増加となった。

2 特筆すべき事項と課題

(1) 就労支援事業

就労支援関係機関と連携を図ることで、6名の利用者が一般就労(障害者枠)を実現できた。うち1名は、一般就労で働きながらあっとほーむも利用しているが、将来的にはあっとほーむから一般就労に完全に移行することをめざしている。

(2) 個別支援計画

個別支援計画の作成や年2回のモニタリング及び随時の面談を通じて具体的な個別の支援を行った。成果としては、利用者の意思を尊重した短期目標の設定と課題達成のための取り組みを行うことにより、職業準備性の向上がみられ、企業や機関での実習や見学に繋がった。また、計画作成の過程で関係機関との連携が広がった。

(3) その他

個別支援計画の作成や年2回のモニタリング及び随時の面談を通じて具体的な個別の支援を行った。成果としては、利用者の意思を尊重した短期目標の設定と課題達成のための取り組みを行うことにより、職業準備性の向上がみられ、企業や機関での実習や見学に繋がった。また、計画作成の過程で関係機関との連携が広がった。

法人設立前から使用継続して老朽化が問題となっていた車輛を更新した。

3 今後について

就労支援事業について、効率的かつ効果的な事業運営をめざして、必要に応じた業務改善に努め、利用者の生活安定や就労のステップアップに資する事業体系を構築し続けていく必要がある。また、より地域に根ざした活動を行っていきけるよう、

地域住民との交流を図り、地域のニーズを把握しつつ、事業経営を進めていく。

新規の利用者の受け入れについて、積極的に受け入れを行っていく。多様化してきている利用者への配慮、支援についてより一層お互いに尊重できるよう利用者と職員との関係構築を図り円滑な人間関係を維持し、それぞれの目標に添った就労支援サービスの提供に努めていく。

4 主な活動実績

(1) 就労支援事業

①主な就労支援事業収入

事業内容	30年度	29年度	対前年度比
自主製品事業(ビーズ・陶芸)	1,000 円	1,500 円	66.7%
受託事業(もみじの茎切り)	121,820 円	103,360 円	117.9%
自動販売機管理	101,560 円	135,160 円	75.1%
配食サービス事業	12,357,350 円	12,575,720 円	98.3%
その他(印刷など)	105,400 円	114,380 円	92.1%
計	12,687,130 円	12,794,960 円	99.2%

②利用者一人当たりの月額平均工賃額

30年度	29年度	対前年度比
17,625 円	16,306 円	108.1%

③ボランティア・見学・実習参加状況

利用見学及び実習受入れ延べ人数	14 人
関係機関等施設見学・実習受入れ延べ人数	10 人
精神保健福祉援助実習受入れ延べ人数	4 人

(2) その他の活動

- ①施設外活動(箕面市精神保健福祉ボランティアグループこころの会交流会参加、市内お祭りへの出店参加)
- ②啓発活動(精神障害者理解促進事業ハートパーク)
- ③余暇活動(あっとほーむ忘年会、新年会、茶話会、外出レクなど)
- ④専門指導研修(調理師による利用者向け、職員向け講習会)

5 利用者状況

(1) 利用実績総括表

平成31年3月31日現在

項目	30年度	29年度	対前年度比
利用契約者数	24人	31人	77.4%
平均年齢	45.9歳	45.1歳	+0.8歳
稼働日数	248日	246日	100.8%
延べ利用者数	2,832人	3,888人	72.8%
1日平均利用者数	11.7人	15.6人	75.0%

(2) 障害者福祉手帳所持状況

平成31年3月31日現在(単位:人)

	利用者数	1級	2級	3級	B1	B2	重複	なし
男	14	0	9	1	1	1	0	2
女	10	0	8	0	0	2	1	1
合計	24	0	17	1	1	3	1	3

就労継続支援B型シェスタ事業報告

1 概要

就労支援事業については、主力の焼き菓子販売の大口受注減少が原因で収入面では思うように伸びなかった。しかし、利用者の入れ代わりは多かったものの、安定通所できる利用者が増えたことで生産量も増え、利用者一人当たりの平均工賃額は増加することができた。

利用者の支援に関しては、個別支援計画を作成し、年2回のモニタリングをすることによって具体的な目標や取り組みを検討し、効果的な就労支援の提供に努めた。

2 特筆すべき事項と課題

(1) 就労支援事業

優先調達事業からの受注もなかったことや新たな販売先の開拓ができず、全体的に就労支援事業収入が思うように伸びなかった。

商品開発については、季節限定商品の製造に取り組むとともに、専門家からの指導を受け新商品の開発を行った。

利用者が作業しやすい安全な環境づくりに工夫して取り組み、各々の体調やニーズ等をもとに作業分担、作業時間等について、改善を続けることが重要である。

(2) 個別支援計画

利用者個人の面談を通し、個別支援計画の作成と年2回のモニタリングを行い、具体的な個別の支援を行った。このことによって、短期的な目標設定と利用者の意思確認を行い、他機関への実習や見学、関係機関との連携強化といった成果につながった。モニタリング以外でも、都度必要に応じて面談等を行い、利用者の日常生活の悩みの解決を行った。

(3) 利用者の状況

利用者の入れ替わりがあり契約者数は減少したが、利用時間や日数を増やし、目標に向けて体力作りや生活のリズム作りが順調に向上している利用者も多かった。

3 今後について

喫茶の利用客を増やすために、チラシの作成やポスティングなどを行う一方、就労支援事業としてだけではなく、地域住民との交流や啓発活動としてガレッジセー

ルの開催など工夫を凝らしながら、地域に根ざした活動を行う。また、喫茶のメニューにおいても、新たに箕面産ゆずを使用したケーキセットを追加する等の充実を図る。

商品開発については、新商品及び季節限定商品の研究開発、リサーチや顧客満足度調査などに取り組むとともに、環境の変化を苦手とする利用者が新商品の製造作業にそれぞれのペースで取り組めるよう、作業支援の強化も行う必要がある。

焼き菓子の新商品開発や喫茶メニューの充実によって就労支援事業の内容が拡充することで、利用者の作業内容も多様化し職域拡大が想定されるため、新規利用者の受け入れについても関係機関等へのチラシ配布などを行いながら進めていく。

4 主な活動実績

(1) 就労支援事業

① 主な就労支援事業収入

事業内容	30年度	29年度	対前年度比
焼き菓子販売	3,924,146 円	4,298,110 円	91.3%
委託事業(もみじの茎切り等)	240,000 円	240,000 円	100.0%
計	4,164,146 円	4,538,110 円	91.7%

② 利用者一人当たりの月額平均工賃額

30年度	29年度	対前年度比
13,783 円	12,802 円	107.7%

③ ボランティア・見学・実習参加状況

ボランティア受入れ延べ人数	0 人
利用見学及び実習受入れ延べ人数	10 人
関係機関等施設見学・実習受入れ延べ人数	20 人
精神保健福祉援助実習受入れ延べ人数	1 人

(2) その他の活動

- ① 施設外活動(市内小学校イベント参加、箕面市精神保健ボランティアグループこころの会交流会参加、春のバザー、市内お祭りへの出店参加)
- ② 啓発活動(精神障害者理解促進事業ハートパーク)
- ③ 余暇活動(なかよし会年 2 回実施)
- ④ その他の活動(ガレージセール)

5 利用者状況

(1) 利用実績総括表

平成31年3月31日現在

項目	30年度	29年度	対前年度比
利用契約者数	19人	22人	86.4%
平均年齢	40.3歳	42.6歳	-0.4歳
稼働日数	244日	246日	99.2%
延べ利用者数	2,740人	3,199人	85.7%
1日平均利用者数	11.2人	13.0人	86.2%

(2) 障害者福祉手帳所持状況

平成31年3月31日現在(単位:人)

	利用者数	1級	2級	3級	A	B1	B2	身体 3級	なし
男	7	0	5	1	0	0	0	0	1
女	12	0	7	1	1	1	0	1	1
合計	19	0	12	2	1	1	0	1	2